第 18・19 回　探究発展 A　 SS 授業指導案（略案）

授業日：11 月第 3 週　　場所：図書館

1, 本時の目標

① 研究計画書に従って研究・調査活動を行う。

② 研究計画を踏まえ、研究内容を整理し、研究レポートにまとめる

2, 本時の展開

時間	項目	生徒の活動	備考
5	導入 （図書館）	① 本時の目標を知る。 ・仮説の検証方法を相談して決め、検証活動を実施する ・研究レポートの作成の流れを知る ② 自己評価カードに本時の目標を記入する。	 pp.29~35 STEP9
90 (10)	調査活動	① 研究レポート作成の流れを学ぶ。 ⅰ評価基準表を参照し、「評価の観点と基準」を学ぶ。 ⅱ研究結果のまとめ方について学ぶ。 ・先行研究の成果の上にこの研究で得られた新たな知見を加える ・研究結果について最後まで「つっこみ」を入れる。 →新たな問を立て、より説得力のあるものにしていく →反証ができなければ「今後の課題」とする ⅲ考察のまとめ方について説明をする ・先行研究と比較し、同じ点、異なる点をまとめる ・自分たちの意見に対して批判される内容を予想し、反論する →中村先生は「反証をつぶし、可能性を限定すること」が大切であると説明済み。どうしても反論できない場合は「今後の課題」とする。 ・研究仮説が成立したか、不成立であったか説明する。 中村先生の「若者は結婚できるかＢ」のレポートを参考にする。数字などの基づいた根拠（説得力）が大切。 先行研究が大切であることの再確認。 ② 研究レポートの作成について知る レポートの構成、作成要領、様式を知る ③ 検証活動を実施する ・必ずアドバイザ教員に「報告・連絡・相談」	 pp.47 STEP10 pp.36~37 別紙 STEP11 pp.39~47 様式 6 p.68
5	自己評価	自己評価カードを記入して本時の取り組みを振り返る	

3, その他

連絡　：　「研究レポート」「発表用資料」の提出　12 月 23 日（水）　アドバイザ教員へ